

3類型	農林水産物	通巻番号	10-28-003
地域資源名	モズク	認定日	平成28年 10月 14日
地域	沖縄県宜野湾市	所管省庁	農林水産省、経済産業省

事業名：沖縄県産モズク並びにモズク由来のフコイダンを活用した 沖縄県産加工商品群の開発と販路開拓

会社名：有限会社 海昇食品
(法人番号5360002018586)

所在地：沖縄県宜野湾市嘉数3-30-7

連絡先：TEL：098-898-3790

H P：http://www.kaisho-foods.com/

FAX：098-899-2371

事業概要(地域産業資源の活用)

沖縄県北谷町漁協の組合員、海人(うみんちゅ)でもある当社は、これまで水産物の蓄養や加工、観光施設への卸・販売を行う中で、沖縄の美しい海で生産されるモズクの成分であるフコイダンの可能性に着目し、独自にフコイダンエキスの抽出技術を確認した。全国の9割以上を沖縄で養殖している「フトモズク」のフコイダン含有量は、昆布などの他の海藻類の中でも群を抜いて高いと言われている。当事業では、沖縄産モズク並びにモズク由来のフコイダンエキスを活用した健康食品(ドリンク、タブレット)や加工食品(お茶、ウォーター等)商品ラインアップを開発し、健康維持を志向する中高年層をコアの顧客として想定、沖縄県内外、インバウンド観光客、アジア圏市場での展開を図る。



【地域産業資源 モズク】

新たな需要の開拓の見通し(市場性、販路、商品の特性)

◆市場性

モズクは、「胃の健康」「メタボ予防」といった機能が注目され、沖縄県によって、沖縄機能性食品の「戦略素材A群」として選定されている。また近年の健康トレンドにより、モズクをはじめ海藻類を採り入れた食生活も見直されつつある。一方フコイダンエキスに対しては、国内だけでなくアジア圏(韓国、中国など)でも健康食品メーカーを中心に需要が高まっている。



【フコイダンエキス
(既存商品)】

◆需要の開拓の方針

先行して展開している韓国では、提携先とコラボすることで、医科大学ブランドによる健康食品での展開がスタートするところである。県内では、自社の販路である観光施設から販売を開始し、空港、ホテル、ドラッグストア等へ拡大していく計画。県外では健康食品素材の展示出展等で、パートナーとなる健康食品メーカーを開拓する。

◆商品の特性

フコイダンエキスをベースに、独自製法で食酢や黒糖蜜を加えた健康ドリンク、海洋深層水を加えたウォーター商品、モズクそのものを独自製法で加工し沖縄素材をブレンドをした「モズク茶」など、健康食品分野だけでなく身近な食品群も展開し、普段の生活の中での健康維持を応援する。



【モズク茶(既存商品)】

地域を挙げた取組と協力者・関係事業者等との連携

モズク高付加価値商品の県内外・海外展開により、県内漁業者(海人)の安定的な所得向上、地域雇用の創出を図り沖縄の水産業発展の一翼を担う。漁協組合員として活動している北谷町においては、漁業と観光の融合による産業振興を推進する北谷町役場の施策のもと、ベイエリアのホテル・観光施設での商品販売、地元事業者とのコラボ商品開発など地域活性化を目指す。